

環境

フードロス もったいない ゲリラ豪雨 環境の問題は幅広く一括りにできない 外来種

公害 汚染 東京が屋久島ようになる 生物多様性 ペットの放棄 温暖化

海のごみ →マイクロプラスチック →鳥・魚への影響

私たちが取り巻く環境 →課題の複雑化

ごみを資源として活用 環境に良いことは自分が必要だからする ・震災→太陽光発電 ・生ごみ対策→ミミズ飼育

空家を活用したシステムがあると良い

人間の活動が、環境に及ぼす影響

気候変動

環境への投資

持続可能は武蔵野市だけではない

現状・課題



私たち

情報を発信しても伝わらない

全部を教えると考えなくなる

環境のことを、知っているようで、知らない

環境に優しい行動は面倒くさい

継続が難しい

小中学校の時の環境教育は大人になっても覚えている

大人やお年寄りの方が環境にやさしい行動ができない

基礎的なことでも知識の共有が難しい

子どもは親を見ている 親が行動するとマネをする

お年寄りへの啓発は難しいが、屋上菜園は驚きと感動を与えている

小中学校の現場でESDはなかなか浸透していないのが現状、難しい

環境に関心のない企業人でも、子どもや孫に影響があることは深刻に受け止める

コンセプト

共創による未来に誇れる場づくりとしてのエコプラザ

ベースとなる考え方

リスペクト 市民参加

メタボリズム 生活との接点

目指すもの

ごみゼロ、ゼロウェイスト

コレクティブインパクトの成功例としてSDGsに取り組む

対象

家族形態等の想定

全市民 活動する人・利用する人両方の視点

取り扱う環境テーマ

食 地球温暖化 農

水循環 緑 エネルギー

ごみ 資源 生物多様性

全体的な視点

4つの基本方針

低炭素モデルの実現 地域力の向上

まちづくりとの連携 メタボリズム

その他の意見

きっかけをエコプラザでつかめると良い

出口から入り口までのジャーニーを考える

ワクワクする場所 節約する気持ち

成功事例のないモデル機能

全体のマイクロマクロの視点

コピーはダメ 武蔵野市流のSDGsをつくる

日常的な行動と温暖化の結びつきを知る

30年後の市民に向けて何をやる施設？

誰のため？なんのため？どんな満足につながる？

実体験・体感から気付き、共感、行動、活動へ

物事を深く考える場 どのような市民になってほしい？何を学び、考える？ 持続性

まちの中に環境を考える場を点在させる→まち全体の拠点化 必要性

環境のことを考えられる人になってほしい

集客・指標・費用対効果を踏まえた市民の望む施設 異なる分野をつなげる視点

運営

手法

評価・検証方法・効果測定

多様な運営形態

携わる人

防災対策

市民参加・市民提案

市民への説明責任

ガイドラインを設けない

若い世代の力を活用

アーカイブ・活動のナレッジのストック

危機管理

オールマイティなマネジメント

マーチャンダイジング的マネジメント

活用

奥まで見えないところが良い、先が気になる造り

見る・見られる関係とつながる空間性

設計者のこだわりが運営者に伝わらない

お金を集める仕組み（ふるさと納税、募金箱、ファンドなど）

企業・事業者・NPOとの連携

人材不足、育成の必要性

機能・手法

情報収集・伝達

どうやって

環境の本質を発信・伝達することで意識を変容

プロセスを伝える

わかりやすい説明

総合化 体系化 質の高さ データ化 正しさ 本質的なことをわかりやすく発信

ごみのことから、生活環境全般のことを考え、発信・交流する

定性・定量の見える化

何をする

事業説明会・報告会 身近な生活環境のことを発信する施設 エコポ

広報ルートづくり 情報交換会 広報誌の発行 人の集まる場所でのPR・警鐘

WEB、SNSの利用 産官学の役割分担による情報発信 イベント出展 掲示板

学び

探求・行動・活動

暮らしやすさと環境問題 関心のためのストーリー ESD 余白 気づき

多様性 複雑系の学び 共感力 興味の温度差を解消する

体験を積ませてデータなどを示しながら、次のステップへと展開していく手法

変化球 リアリティ

インセンティブ Sense of wonder 未来の消費者へのアピール プロセス学習

探究創出型 共感力 読み取る力 学び直し 関心のためのストーリー

化学反応・化学変化 「学ぶ」より「調べる、研究する」 継続 循環 真実を見る目を養う

子どもの意欲的な学び 現状の正しい理解 親の視点・子どもの視点 負の教育 複雑系の学び

どうやって

入口から出口までのジャーニーを考える

知ることの大切さ

気づきの場の重要性

本質的なことを学ぶ

環境問題を引き起こしているのは人間という意識

量ではない、本当の成果にこだわった啓発

文化

参加・体験

感じる力・観察する力を考える力に

子どもたちの環境教育への支援

対象者を分けたアプローチ 啓発の質を高める オリジナリティ 若者世代

危機感のアピール 遊び 見ているのに気が付かないモノやコトに焦点をあてる 見えないものを想像させる

体感から気づきを得て共有する 体感・思考・蓄積のコンテンツ 伝統の継承

環境のつながりを体系的に学べる場 子どもが興味を持てる場

何をする

相談支援 素材収集、提供 来館インセンティブ

レファレンスサービス 伝統知 活動発表会 PC検索 環境ライブラリ

教材等貸出 研究・提プロジェクト アーカイブ ポートフォリオ

ボランティア・環境リーダー・講師等の養成、活動サポート 自主学習会 モヤモヤ会議(カフェ)

環境に関する市民の活動の場づくり(会議室、ワークルーム、キッズスペース、遊び場など)

子どもの言葉で大人を動かす 団体・事業者等支援

何をする

お祭り イベント 出前授業 フィールドワーク 勉強会

講座 ワークショップ+プレスト イベントと学びの中間 自然環境体験

主体的な学び、学び方を学ぶ フォーラム・シンポジウム 講師派遣 セミナー

交流

どうやって

人と人をつなぐ まち全体の更新 地域活動の水平展開 開かれた場

人材を発掘する場

地域分散の活動＝アウトリーチ

運営協議会と市とのパートナーシップの継続

中間支援 人材・素材の蓄積 教訓を生かす

コミュニティ活動＝環境活動 世話をやく人 ESDの地域活動への引用 分かち合う

学び合う、育ち合う関係づくり リタイヤしたOB・OGを生かす 活動の輪を広げる

聴く耳を持つ コミュニケーションの循環 地域の理解 いつでも誰でも

地域のスペシャリストを核とした展開 地域を知る、武蔵野市を知る

連携

何をする

コンソーシアム 人事交流 学校教育等との連携

地域のネットワーク化 人事交流 世代交流 店舗等での実験

他自治体施設等との広域連携 マッチング・コーディネート 地域資源の発掘・活用

企業・事業者との協働 様々な施設等との連携

体験と参加対話を増やす 何気ないことがつながる施設 学生等とのコラボ

地域のつなぎ役をつくる クリーンセンター・周辺施設等との連携

展示

どうやって

自然の実態の見える化

日常の行動と温暖化との結びつきを知る

世界に誇れる運営協議会の活動の歴史

未来と歴史

データで見せる

負のイメージの活用

何をする

参加型展示

常設・企画展示 補修等実演

映像・音楽の視聴 来館者等の制作物の展示

環境配慮型技術・設備の解説

エコプラザ(仮称)で何をする？

ごみ・資源

- ごみ戦争・クリーンセンターの建設の歴史の継承
- リサイクルガーデン
- アップサイクル
- ごみの分別方法の周知
- おもちゃの病院
- ごみの減量啓発
- プラスチック処理の現状を伝える
- 生ごみのたい肥化
- 食品ロスの啓発
- おもちゃ・絵本のかえっこ
- クリエイティブリユース
- 素材ライブラリ
- マイクロプラスチックの影響から循環を知る
- クリーンセンター宿泊体験
- リペア・リユース工房
- 空き家の活用
- ライフスタイルを変える
- コンポストガーデン
- 煙突のぼりイベント
- ごみ素材化ワークショップ
- 着物リサイクルのブランド化

エコプラザ(仮称)

地球温暖化・エネルギー

- 防災・商店街等との協働イベント+インセンティブ
- 太陽光発電等設備の解説
- 再生可能エネルギーの研究
- 市民のできること・自治体単位・多摩地区でできること等の問題提起
- ゴーヤの苗の配布
- ベランダ発電工作教室
- 環境家計簿と地図とのリンク
- 低炭素モデル
- 市民ファンドによるソーラーシェアリング
- ソーラー設置住宅見学会

水循環

水の学校

水の学校
=多様な視点から見た水との関わりを学ぶ連続講座
→下水道の役割、重要性、魅力、可能性
・座学だけでない楽しさ
・プレストの重要性、気付きの場
・連続講座修了者バッジ

連続講座修了生によるサポーター活動
・企画講座、自主企画・運営
・ニュースレター発行
・大人の遠足=オープン講座として提案
→湧水めぐり、酒蔵めぐり等の見学会
・大人の部活=勉強する機会としてステップアップ講座
→単発講座の企画・実施
・水教育プログラム資格取得
・国土交通大臣賞(効果的な広報活動、環境教育の取り組み評価、モチベーション上昇)
・サポーターミーティング
・成果物=啓発資料作成(水のほそみち紀行等)
・サポーターの組織化の是非

その他

- 下水の見える化
- 洪水対策
- 雨水ます・タンクの設置促進
- 雨水タンクの緑化活用・宣伝
- 井の頭池の湧水復活と地下水の関係を知る
- 微生物による水の処理と油の関係を伝える
- 市民科学の視点
=市民による下水に関する研究成果を国や地方自治体にフィードバックする仕組み

緑

- 屋上・壁面緑化
- 公園
- 枯れた花の再生→ドライフラワー・押し花づくり
- 緑に関する宣言書
- 苗からの育苗、挿し木、株分け
- 緑のカーテン
- 収穫体験
- 武蔵野の雑木林→新クリーンセンターとのつながり
- 自然観察園・二俣尾・奥多摩等をフィールドとした自然体験事業
- 桜マップ・桜の樹名板づくり
- 農業公園とのコラボ
- 間伐材の活用
- 花のある暮らし
- たい肥を利用した屋上菜園

生物多様性

- 生態系の管理
- まち全体を植物園に
- 外来種被害を知る
- 花壇周辺の生物調査、発表
- ベットの野生化の影響を知る
- 気象と生息環境のつながりを学ぶ機会の提供
- 武蔵野市の在来種生息地の確保、観察
- 公園の生態系を学ぶ
- かいぼり見学
- 自然の仕組みと生態系を学ぶ
- ビオトープ

環境視点でのまちづくりとの関わり

- 防災視点
- 道路・景観への関心から緑のまちづくりレポートへ
- 風景との調和
- 情報誌の作成、スポンサー探し、企業との関わり方(企業のメリットを考える)
- 自主活動の発表の場
- 人と会って話をする、声をかける
- 花のある暮らし
- リーフレットづくり
- 子育て支援施設との連携講座
- まちの中に環境を考える場を点在させる
→まち全体の拠点化
- 誰もが暮らしやすいまち
- 花とカーボンフットプリント
- 中学校の花壇の整備、雨水タンクの活用、活動発表
- 市との連携
- 大学・起業塾
- まちの色とクレヨンプロジェクト
- 異なる分野をつなぐエッセンス